

神奈川の基幹ネットワーク整備と安全・安心な道路管理



国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所長 西村 徹

はじめに

横浜国道事務所は、国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）、国道1号、15号、16号、246号、357号、409号の改築や維持管理、交通安全対策、無電柱化等の事業を担当するとともに、神奈川県内の広域道路網の調査計画を担当しています。

圏央道（横浜湘南道路、高速横浜環状南線）

圏央道は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの自動車専用道路で、3環状9放射ネットワークの一部を形成します。

神奈川県内の圏央道のうち、現在は「横浜湘南道路」および横浜環状道路の一部でもある「高速横浜環状南線」の整備を重点的に進めていま



圏央道（横浜湘南道路・高速横浜環状南線）栄IC・JCT工事状況

す。この整備により、神奈川県内の圏央道ネットワークが完成し、神奈川県東西軸の交通が円滑になることにより、広域的な整備効果が期待されることです。

引き続き、調査設計、トンネル工事、橋梁工事等を推進しています。

国道357号 東京湾岸道路（神奈川県区間）

東京湾周辺の横須賀、横浜、川崎、東京、千葉等の諸都市を連結する約160kmの幹線道路で、内陸部の交通混雑の緩和や湾岸に立地する諸都市の機能効

率化に資する道路です。

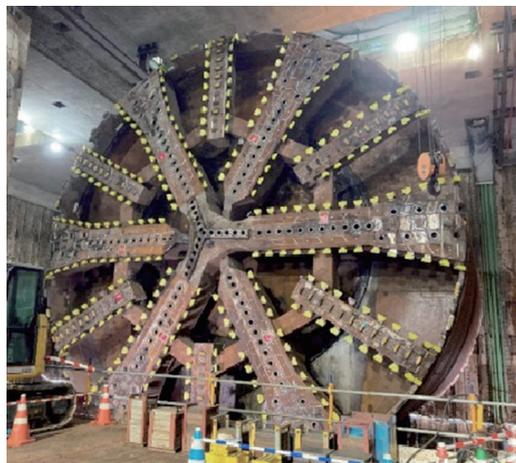
引き続き、横須賀市夏島町地区において改良工事を推進しています。

国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業

追浜駅周辺に分散するバス・タクシー乗降場の集約によるモダルコネク環境の整備を目的とした事業です。

令和7年6月には、新たな交通ターミナルの整備について「追浜駅交通結節点整備事業計画」の改定案をとりまとめました。

「えき・まち・みちデザインセンター」を活用して地域の皆様の意見



横浜湘南道路のトンネル掘削に用いるシールドマシン（1号機）



国道246号 新善波トンネル土砂崩落の応急復旧の状況

を丁寧に聞きながら、周辺まちづくりと連携して、バスターミナルに必要な機能を踏まえた具体化を進めていくため、引き続き、調査設計を推進しています。

国道246号 厚木秦野道路

国道246号バイパスとして、東名高速、新東名、圏央道と相互に連結し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路であり、事業化区間の約14kmについては川崎国道事務所が担当し、当事務所は残る区間の事業化に向けた調査検討を担当しています。引き続き、事業化に向けた調査を推進しています。

国道1号 戸塚警察署交差点の渋滞対策

国道1号 戸塚警察署交差点は、横浜市道から東京方面への流入交通が多く、交通が集中し、速度低下が発生している状況です。その渋滞対策として、戸塚警察署交差点の立体化を推進しています。

引き続き、測量や地質調査等を実施し、調査設計を推進しています。

道路管理

横浜国道事務所は全長約260kmに及ぶ国道を管理しています。

昨年8月30日に国道246号の伊勢原市新善波トンネル付近において、台風10号に伴う大雨で土砂が崩落し、10日間の通行止めが発生しました。現在、応急復旧工事を行い通行止めは解除しており、引き続き、本復旧に向けた工事を進めているところです。

また、箱根新道では、麓と峠で標高差があり、さらに、雪による影響を受けやすい地域であり、降雪時には除雪等の積雪対策を行っていきます。

老朽化対策等の抜本的な対策を含めて、橋梁耐震補強、法面防災、積雪対策、越波対策などの取組の更なる加速化・深度化を図っていきます。

おわりに

神奈川県内の道路ネットワークの整備、既存道路の維持・管理、老朽化対策を進め、豊かで快適な暮らしを支える道づくり、地域経済、産業全体の更なる活力向上に向け、神奈川県、市町村、地域と一体となって防災・減災、国土強靱化に資する道路づくりを進めていきます。



国道1号箱根新道 融雪剤散布状況